

2023年1月6日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～日本エンジン株式会社のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、日本エンジン株式会社（代表取締役 高橋 剛）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 融資金額 100百万円
2. モニタリング期間 5年
3. 資金用途 事業資金
4. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

5. 日本エンジン株式会社の概要

代表者	高橋 剛
本社所在地	愛知県稲沢市奥田大沢町 10 番地
業種	自動車・自動車エンジン再生業
設立年月	1947年7月

<記念盾贈呈式の様子>



日本エンジン株式会社
代表取締役 高橋 剛 氏

株式会社名古屋銀行
常務取締役 南出 政雄

※写真撮影時のみマスクを外しております。

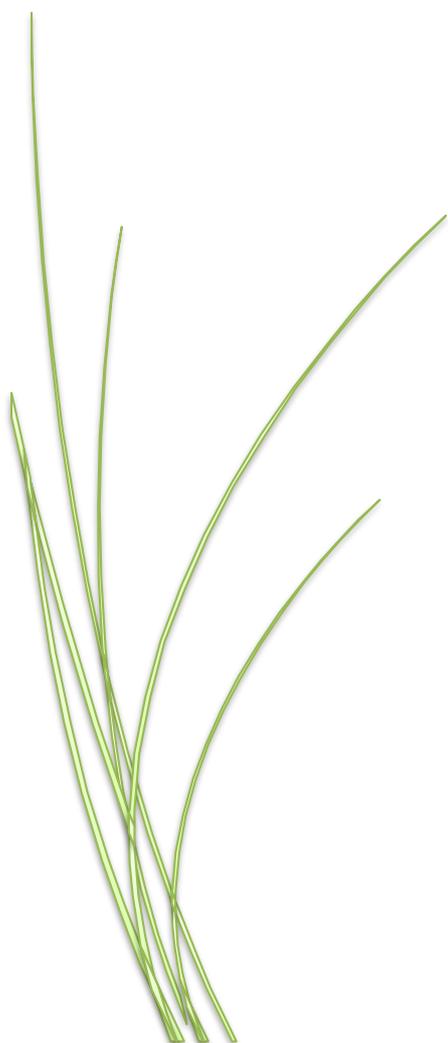
参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～日本エンジン株式会社～



2022年10月31日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、日本エンジン株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、日本エンジン株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	日本エンジン株式会社
所在地	愛知県稲沢市奥田大沢町 10 番地
従業員	57 人
売上高	727 百万円
事業内容	エンジン、油圧製品、空圧製品などのリビルト事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

1. 企業情報	3
①会社概要	
②沿革	
③事業概要	
④経営理念・経営方針	
2. 事業内容	7
①エンジンオーバーホール及びリビルト業務	
②油圧、空圧リビルト業務	
③鉄道部品のリビルト・メンテナンス	
④サーキュラーエコノミー推進のためのビジネスモデル	
3. その他の活動	13
①ISO9001 取得	
②優良企業ガイド「ALevel」への掲載	
③健康優良企業認定	
4. ESG 活動	14
①SDGs 宣言	
②工場見学活動	
③SBT 認証	
④スポンサー活動	
⑤様々な事業やプロジェクトへの参画、取組	
5. インパクトの特定	17
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
④海外のインパクトニーズ	
6. 測定する KPI	24
①ポジティブインパクトの拡大	
②ネガティブインパクトの縮小	
7. インパクト管理体制	26
8. モニタリング方法	26
9. 総括	26

1. 企業情報

①会社概要

会社名	日本エンジン株式会社
創業年月	1947年7月
資本金	25,000,000円
代表取締役	高橋 剛
決算日	9月30日
従業員数	57名
本社・稲沢工場	愛知県稲沢市奥田大沢町10番地
笠寺工場	愛知県名古屋市南区塩屋町四丁目2番地
認証・許可	労働者派遣事業 許可番号 派23-303572 古物商(自動車商) 許可番号 第541160200300 ISO9001:Q4126
取扱事業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車エンジンオーバーホール事業 エアードライヤー、クラッチブースター、パワーシフト等の在庫販売事業 鉄道製品修理・リビルト事業



本社・稲沢工場



笠寺工場

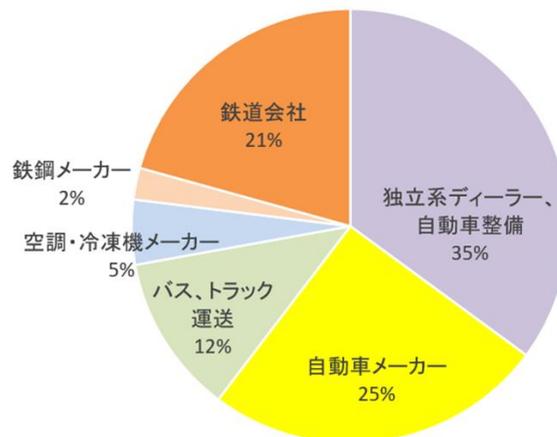
②沿革

年月	概要
1947年7月	名古屋市中区松原に三エス興業株式会社を設立 自動車修理・再生および部品の販売を開始
1958年10月	本社社屋竣工
1960年8月	名古屋市南区塩屋町に笠寺工場設立 エンジン再生事業を開始
1965年4月	カヤバ商事株式会社（現カヤバ株式会社）と油圧機器のサービス修理指定工場契約を締結
1967年1月	中部デーゼル株式会社（現シナジー株式会社）と修理指定工場契約を締結
1970年4月	日本エンジン株式会社に社名変更
1972年5月	稲沢市奥田大沢町に稲沢工場設立 エンジン再生専門工場として操業開始
1996年12月	笠寺工場に新事務所設立
2006年5月	ナブテスコサービス株式会社とサービスステーション契約を締結
2011年2月	稲沢市奥田大沢町に本社ビル設立
2014年2月	ISO9001 認証取得
2015年7月	フィリピン共和国に関連会社 SAN-ESU JAPAN INC.を設立
2019年10月	SDGs 宣言策定
2019年11月	「あいちの環境ビジネス発信事業」として、メッセナゴヤ 2019 に初出展 大村愛知県知事の訪問を受ける
2020年1月	愛知環境賞（優秀賞）受賞
2021年9月	新型コロナウイルスの影響によりフィリピンの関連会社 SAN-ESU JAPAN を閉鎖
2022年5月	SBT 認定取得
2022年6月	創業 75 年を機に企業ロゴを変更
2022年6月	愛知県循環型社会形成推進事業費補助金（循環ビジネス事業化検討事業）に採択
2022年10月	愛知県のサーキュラーエコノミー推進モデルのプロジェクトチームに参画申請

③事業概要

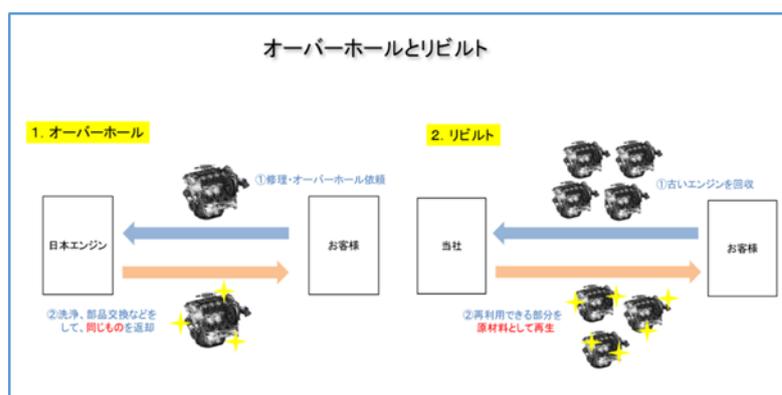
日本エンジン株式会社は主に「自動車、建設機械、特殊車両、発電機、空調機（GHP）等のエンジンのリビルト、オーバーホール」、「自動車部品（補機）のリビルト販売」、「鉄道部品のリビルト、メンテナンス」の3事業のセクションで事業展開をしている。売上構成の中心は、大型車両のエンジンオーバーホール、リビルトであり、2022年で創業75年という歴史から蓄積されたノウハウによる高い技術力が最大の強みである。

特にオーバーホール技術による長寿命化やリビルトによるリサイクル・リユースは、今後も大きな需要があり、実績が信頼を生む事業である為、事業の継続、拡大、浸透を未来ビジョンとしている。



当社の売上構成

車両、鉄道、設備機器などのエンジン・部品を取扱い、受注業種は上記売上構成のように多種多様である。自動車メーカー、メンテナンス業、運送業、設備機器メーカー、鉄道会社等がメインであるが、当社のビジョンにおいてはエンジンを扱う事業であれば自社のノウハウを最大限活用できると考えており、サーキュラーエコノミーの観点からも取引業界拡大を目論む。



オーバーホール、リビルトの概要

部品交換や部品劣化による様々な課題を抱える企業に対し当社は、リビルト品の循環型ビジネスについて、解決方法・運用方法の提案から、導入までをしっかりとサポートすることで、トータルサービスとして顧客に安心を提供している。

④経営理念、経営方針

経営理念

当社は誠のプロフェッショナルチームとして、
社会の繋がりに貢献します。

経営方針

- 私達は共に協力し、努力し、共に成長を目指します。
- 私達は信頼され続けるエンジニアを目指します。
- 私達は安心・安全で、環境に優しいものづくりを通じ、幸せで素晴らしい会社を目指します。

経営理念において、「プロフェッショナルチーム」と位置付けるのは当社のエンジンにおける知識と技術の蓄積が、従業員一人一人に至るまで浸透し、一つのチームとして機能することである。その機能が発揮されることで、当社は循環社会の中で様々な企業や業界、人々を繋げるパイプ役として大きな役割を担うこととなる。「社会の繋がり」への貢献は、このような循環社会において必要不可欠な存在であり続けることと捉えている。

経営方針では、経営理念である「プロフェッショナルチーム」の実現、継続、発展のための在り方を定義している。具体的には、共に協力・努力・成長を目指すことで企業が一つのチームであることを示しており、日々技術の向上に尽力すべきとしている。

また、信頼され続けるエンジニアを目指すとは、従業員一人一人がエンジニアとしての誠実な対応をすることを意味している。

加えて、「環境に優しいものづくり」を通じた「幸せで素晴らしい会社」とは、自社の社会的責任の重要性を踏まえ、その責任をやりがいとすることが出来ることを認識することである。

上記の経営理念及び、経営方針は、後述の環境方針や、現場改善等の実施を通して実践されており、これらはSDGsの達成へ向けた重要な取り組みとなっている。

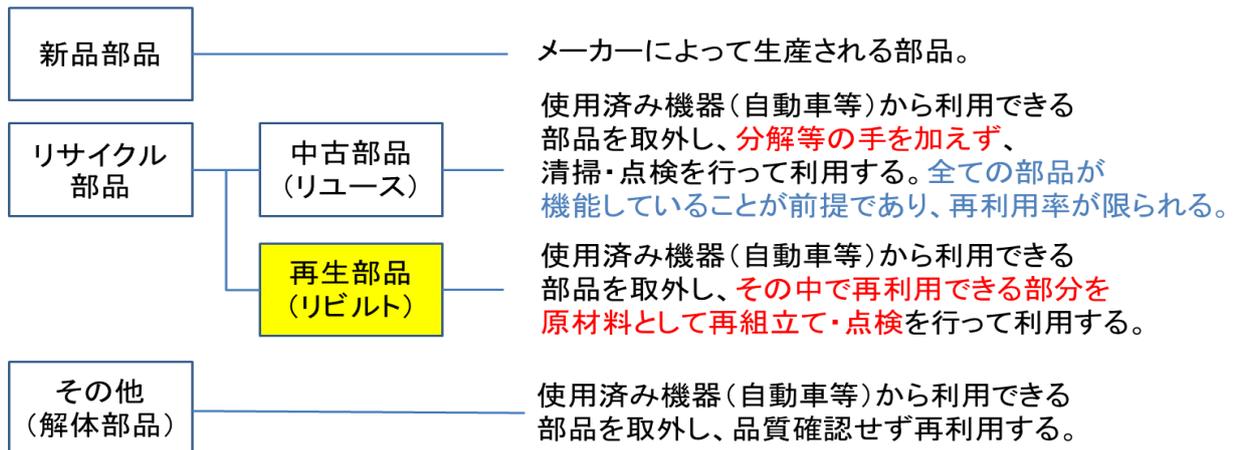
また、当社はいち早くSDGs宣言を策定し、自社の事業がサーキュラーエコノミーの観点から重要な責務と使命があると認識している。これは、愛知県の推進する「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」においても「リペア・リビルドモデル」として重要視されているように、当社の今後の事業展開における未来ビジョンの中核をなしている。

2. 事業内容

当社の手掛ける事業は、自動車部品における補修のうち、下記の再生部品（リビルト）に該当し、再利用や再度組み立てることで新たな価値創造をし、オーバーホールによる長寿命化を実現している。

自動車等の補修部品（アフターパーツ）の種類

（リビルト工業会による定義）



トラックなど大型自動車のディーゼルエンジンは一定期間で新品に載せ替えるのではなく、定期的な整備に加え、メンテナンスを行うことで新品同様に蘇らせ、1つのエンジンを長く使い続けることが求められ、普及しつつある。その中で当社は、長年培ったエンジン回りの知識や技術を活かし、オーバーホールやリビルトによって、長年使い続け動作不良が出始めたエンジンや何らかの原因で動かなくなったエンジンを部品単位まで分解して消耗品・部品交換・加工を施し、再び組み立てて新品同様に再生する事業を展開している。



当社がリビルトする大型車の部品

この事業における当社のポジションは高く、1947年に創業し、同業者の中では最も早くからリビルト事業を行ってきている。自動車部品におけるリビルト業者は全国的にも50社程度と数少なく、さらにエンジンリビルトが可能な事業者は国内で数社である。取扱うパーツが新品ではなく、経年劣化した古いものや大型で特殊な部品が多いことから、業歴の長さやこれまでの実績が、作業のクオリティや取扱う品目の幅に直結しているといえる。

そういった観点から、当社の技術力やノウハウの蓄積は他社と一線を画しており、大手自動車メーカーや鉄道会社からの信頼も厚い。

その一方で、汎用性の少ないパーツや個別の相談による部品再生にも注力しており、当社の HP 上では、数多くの事例や、相談事案を紹介し、当社技術の裾野を広げる取組みも実施している。

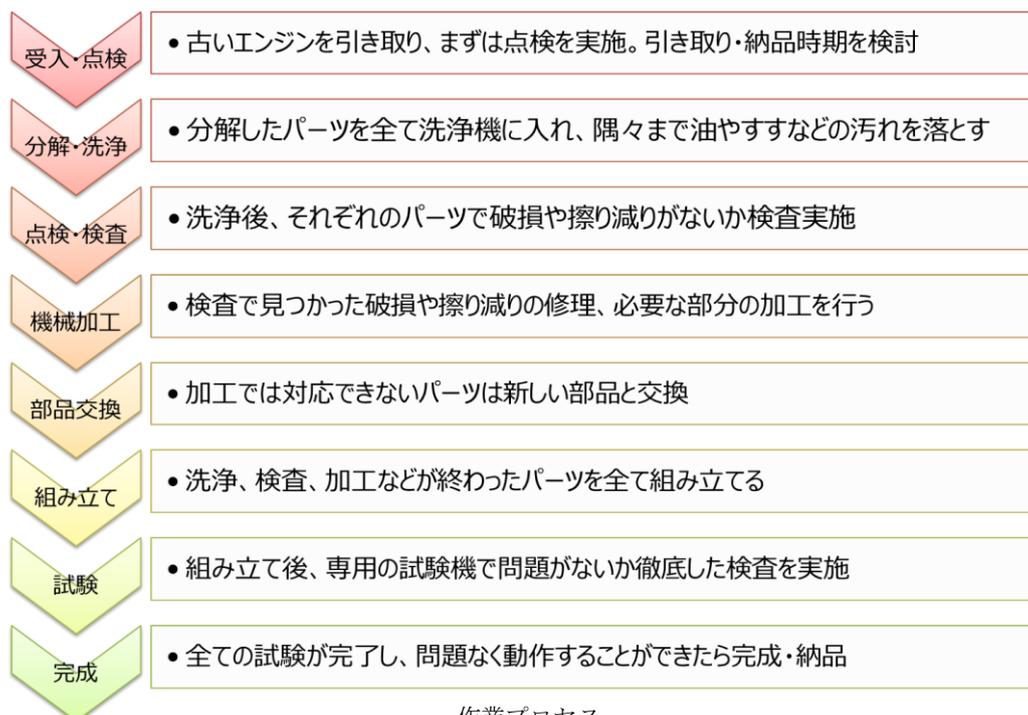
①エンジンオーバーホール及びリビルト業務

オーバーホール作業は、摩耗した箇所を修繕して、空気やオイルの浸入や漏れを防ぎ、長年の使用や不十分なメンテナンスでエンジン内部に溜まったスラッジやカーボンなどの洗浄を行う。エンジンの状況によってはピストンやバルブなど不具合のある部品を新品に交換することで、新品エンジンと変わらない性能で、より効率よく稼働するエンジンへと蘇らせることが可能である。



オーバーホール作業後（納品時）

実際のプロセスは8つの工程に分けられており、稲沢工場において作業が行われる。



作業プロセス



洗浄工程

洗浄作業は納入したエンジン等を分解し、部品単位で洗浄をする。洗浄方法も超音波洗浄による微細な部分まで実施する洗浄や、高圧スプレーにより行われる強力な洗浄があり、長年蓄積された汚れや錆を除去する。この工程は、後の検査や加工の前段階であるが、精緻な加工や部品の組み立てをする上で非常に重要な工程である。



シリンダブロックの加工例

加工作業は、経年劣化による摩耗や、欠損等を研磨や圧入により従来の製品状況へ再生させることをいう。

バルブシート研磨機や NS 旋盤など多様な加工機械により、多岐にわたる復元加工を実現している。

左記のシリンダブロックは、ボーリングマシン等を使用し、摩耗したシリンダ内側を切削し、スリーブを圧入することで元の内径に戻し、そのスリーブを研磨して完成する。



試験の様子

上記の洗浄や加工を実施後、加工しきれない、再生できない等の部品を別途交換し、組み立て作業を実施する。その後、エアードライヤーやパワーシフト、油圧シリンダ試験機により正常な稼働を確認し、納品となる。

上記のように当社のオーバーホールは、各プロセスにおいて洗浄機、加工機、試験機を対象パーツ

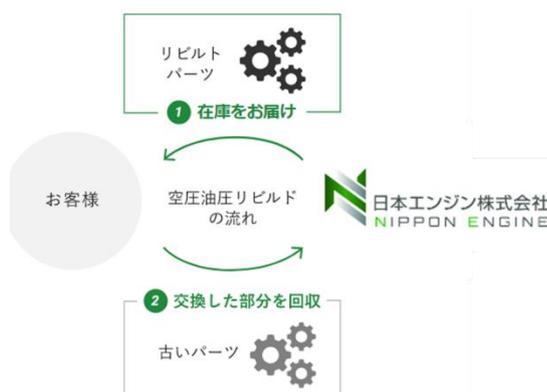
に合わせて、適切な技術力で駆使することによって行われる。これは当社の業歴の長さに裏打ちされた経験と実績によるところが非常に大きい。自動車は電動化が進む一方で既存のエンジン車の長寿命化やサーキュラーエコノミーに順応した産業の在り方が問われている点において、当社のオーバーホール技術は今後も拡大し、社会的使命として大きな役割を担っていく。

SDGs やポジティブインパクトファイナンス原則においても、この事業の充実、拡大、継承は当社のアイデンティティであるとともに事業継続のための最大の強みであると捉えることができる。

②油圧、空圧リビルト業務

リビルト業務の大きな特徴は、在庫保有によるスピーディーな対応が可能である点である。部品交換においては、急を要することや、不具合が生じてから交換の依頼があることが多い為、早急な部品交換対応が求められる。

当社は問い合わせがあった際にすぐに納品できるようにリビルト製品の在庫販売システムを導入している。顧客にリビルト製品を届け、交換したコアを回収することで、そのコアを元に次のリビルト製品を作り上げる手法である。リビルト製品は全て専用の試験機で検査を行い、基準をクリアしたもののみをリビルト製品として納品する為、品質は非常に高い一方で、新品の部品よりもリーズナブルに購入することができる。



当社のリビルト在庫システムの流れ



当社のリビルト後の在庫ストック

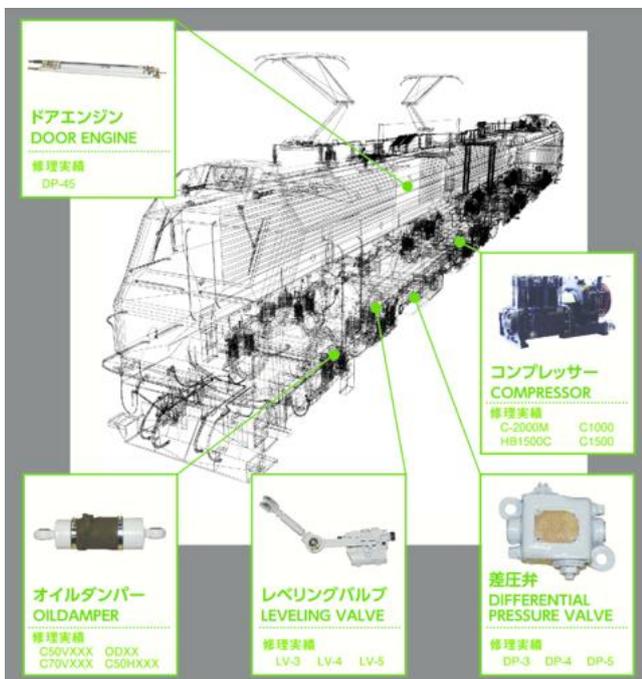
また、製品の品質と安全性を高めるため、各パーツにおいてメーカー指定の定められた試験機を導入しており、全ての製品を厳しく検査している。検査報告なども厳格に行える体制を構築していることから、メーカーの指定工場にも認定されるなど、信頼性も高く評価されている。



多様な試験機（左からエアードライヤー、油圧シリンダ、パワーシフト試験機）

また、複数の部品の交換やメンテナンスを一貫体制に行うことが可能であるため、大型車のニーズを一挙に引き受けることが可能であり、顧客のビジネスにおける効率化にも貢献している。

③鉄道部品のリビルト・メンテナンス



当社が対応する鉄道のリビルト部品

当社の技術力について信頼性が高いことの証明でもある事業が、大型車両や油圧機の設備におけるリビルトに加え、鉄道部品のリビルトの実施である。

鉄道会社の自社メンテナンス部門で専門の技術者を抱え、全ての部品のメンテナンスを行うのは管理もコストも増大する。また、近年の技術者不足の問題もある為、当社の技術力が求められている。

特に鉄道は移動手段の充実と安心・安全が第一となるため、鉄道部品専用の各種試験機も設置、大型車両等とは分けられた工場施設を完備し、品質管理体制の徹底を図っている。

鉄道車両は、モーターなどの主要動力の他に、ドアの開閉や車両の水平維持など多くの機器が使われており、それらの維持管理は重要な業務のひとつとなっている。これらの機器は故障の有無にかかわらず定期的な点検や分解修理が法令で義務付けられている。点検やメンテナンスの場合、実施結果だけでなく作業のプロセスを決められた書式に基づき記録し報告することも重要であるが、当社は、鉄道やバスなどの公共交通機関、大手の鉄鋼メーカーや電機メーカーなどとの取引が多い為、検査機器も充実し、作業内容の報告体制も整備されている。



鉄道部品における試験機

④サーキュラーエコノミー推進のためのビジネスモデル

当社の取扱い品目と技術は①～③において既に述べた通りだが、本項のようなリビルト技術を利用したサーキュラーエコノミーの仕組みづくりにも注力している。リサイクルやリビルトの場合、新品製品にくらべて原材料費が安いので生産コストも低いと思われがちだが、モノによってはリサイクル品・リビルト品の生産コストが新品製品を上回ることもありえる。リサイクルやリビルトの課題は、販売市場が必要としている製品タイプ（型式やデザインや色）に対して、それに合ったコア（リサイクル前・リビルト前の素材）を安定的に調達することが難しい点である。

このため、生産（リサイクル・リビルト作業）ラインの稼働率を高く維持することが困難になり、コストアップ要因となる。この課題を解決するために、当社は新品メーカーのサーキュラーエコノミー推進部門に働きかけ、市場が必要とする製品タイプとコアの回収の量や時期をコントロールすることで生産コストを引き下げ、リビルトによる資源回収が普及するビジネスモデルを作ることを進めている。

当社のこのような働きかけは前述のように愛知県との共同推進等を通じて広がりつつある。顧客はもちろん車両及びそれ以外のエンジン周辺業界においてリビルトによるサーキュラーエコノミーの意識は確実に高まりつつあり、その中心となって技術力を発揮し、安定的なリビルト製品の供給を実現することが当社の事業のさらなる発展につながるといえる。

当社の顧客や自治体との連携によるパートナーシップの実現は大きな動きとして影響力を高めつつあり、当社の必要性とともに事業継続に大きな意義が認められる。加えて、当社の技術力や実績は他社に代えがたいものである。その為、当社は自社のガバナンス確立や従業員の労働環境整備、環境配慮といったサステナブル経営を引き続き継続する必要がある。

3. その他の活動

①ISO9001 取得



品質方針

- 私達は、お客様の立場となって仕事をします。
- 私達は、車両用、設備の重要保安部品を修理している事を認識し、責任ある行動をします。
- 私達は、お客様から信頼され続ける企業になるため、法令を遵守し、技術、品質、サービスの向上を目指し、要求事項への適合、およびQMSの有効性の継続的な改善活動を行います。

代表取締役 高橋 剛

登録範囲

1. 顧客要求事項に基づくエンジンおよびエンジン部品の修理、再生、販売
2. 車両用、産業用機械の油圧、空圧機器の再生、販売
3. 産業機械用金属部品の制作
4. 機械部品の洗浄

②優良企業ガイド「ALevel」への掲載



③健康経営優良法人認定



当社は「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することも重要な企業継続のファクターとして位置付けている。

これは、経営理念や経営方針におけるプロフェッショナルチームとしてのあり方を従業員の健全な労働環境の整備が基礎となるとの考え方に基づいている。

健康経営優良法人認定は 2021 年に引き続き、2 年連続の認定である。

4. ESG活動

①SDGs 宣言

当社は、2019年10月に自社にてSDGs宣言を策定。HPに掲載している。当社の主要事業であるオーバーホール、リビルトを中心に外国人実習生の受入にも注力する旨の宣言となっている。

	<p>リビルトにより廃棄物を削減</p> <p>エンジン及び自動車部品について、リビルト（再生）技術により廃棄物の削減を推進します。</p>
	<p>生産工程でのCO₂排出量を削減</p> <p>エンジンリビルトは新品生産に比べてCO₂排出量を80%削減できる、とも言われており、お客様のサプライチェーン排出量の削減に貢献します。</p>
	<p>災害時の円滑な稼働と排ガス削減を目指します</p> <p>災害による停電時には、エンジンで動く空調機や発電機が必須です。これらをしっかりリビルトや保守することで、災害時の円滑な稼働と排ガス削減を目指します。</p>
	<p>エネルギー効率の改善</p> <p>リビルト（再生）されたエンジンは燃焼効率が改善され燃料消費率が向上し、CO₂排出量が削減されます。リビルトやメンテナンスをしっかりと行うことで、エネルギー効率の改善に努めます。</p>
	<p>外国人技能実習生の受け入れ</p> <p>日本エンジンでは、フィリピン、ベトナムから外国人技能実習生を受け入れ、技能、技術の指導に加え、日本語教育も行っています。これらの活動を通じ、発展途上国の経済発展を担う人材育成に寄与します。</p>

当社は上記SDGs宣言策定に加え、本ポジティブインパクトファイナンスによるKPI設定により、SDGs達成への継続性、具体性、実現性をさらに具体化した取組に昇華し、同業界においてリーダーシップを発揮する。

②工場見学活動

主催：稲沢商工会議所 産業観光ツアー
稲沢の社会科見学 知ろう！稲沢の歴史と文化！
 小中学生のみなさん、土曜児童などと一緒に稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 本、国産の部品や部品を製造する工場について、下には工場見学です。
 小中学生のみなさん、ぜひ一緒に見学してください。見学料は無料です。見学料は無料です。
令和4年7月29日(金) 9:00集合(8:15開演)
 【実施内容】①開演挨拶 ②稲沢商工会議所 産業観光ツアー
 ③企業見学 ④稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑤質疑応答 ⑥稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑦閉会挨拶 ⑧稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑨稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑩稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑪稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑫稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑬稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑭稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑮稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑯稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑰稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑱稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑲稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ⑳稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉑稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉒稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉓稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉔稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉕稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉖稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉗稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉘稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉙稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉚稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉛稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉜稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉝稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉞稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㉟稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊱稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊲稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊳稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊴稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊵稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊶稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊷稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊸稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊹稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊺稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊻稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊼稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊽稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊾稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！
 ㊿稲沢市内の企業を回り、身近に感じたい！



当社は業歴の長さから地元自治体からの信頼も厚く、商工会議所主催の工場見学活動にも参加している。

地元小中学生の参加が中心であり、リビルトのしくみやサーキュラーエコノミーの重要性、ものづくりの素晴らしさを、実際に見学することで経験、学習してもらうことで、子どもに対する質の高い教育機会の提供も実施している。

③SBT 認証取得

当社は自社が設定した温室効果ガスの削減目標について国際的なイニシアチブである「Science Based Targets (SBT)」により科学的根拠に基づいた目標として認定されており、環境省HPにおいても掲載されている。当社の温室効果ガス削減目標は、パリ協定にて目標設定された 1.5℃目標に整合的な水準であることが認証された。

SBT認定取得済の日本企業 2/2

2022年10月3日現在



- 認定取得済の企業は世界で1,803社（うち日本企業277社）
- 世界的には食料品が、日本では電気機器、建設業が多い

すでに認定を受けている日本企業277社の一覧 2/2

※業種内五十音順

※下線付の企業は環境省SBT策定個別支援実施企業（2017~2020年度）

中小企業：アーケルテクノロジーズ/アイミクロン/アイリーシステム/アキスチール/あおと創研/アサヒ繊維工業/アスエネ/アルテック/アルメタックス/アローエム/アロック・サンワ/アンスコ/E-konzal/市川鉄工/岩田商会/ウイング/ウェイトボックス/内海産業/ウフル/栄四郎瓦/ARC/エコスタイル/エコ・プラン/エコワークス/ES/エスビック/エネルギーソリューションジャパン/MIC/エピソード/OSW/オークマ/大川印刷/大阪故鉄/大野建設/オリザ油化/カーボンフリーコンサルティング/会宝産業/CAGLA/カジケイ鉄工/春日井資材運輸/片桐銘木工業/Kabbara/カナツ/加山興業/河田マゼン/河村産業/日強酒造/樹昇/岐阜産研工業/キョテック/共愛/協同電子工業/協発工業/カーン/グローピング/KDC/グットイット/光陽社/ゴウダ/コクボホールディングス/Common keiso Ltd./榊原工業/榊原精器/サハシ特殊鋼/SANSHIN Inc./三喜工作所/サンコーリサイクル/三周全工業/山陽製紙/サンワインダストリー/ジャパニアルエステイト投資法人/新世日本金属/新日本印刷/SHINNIHON-KINZOKU/親和建設/スザキ工業所/鈴木特殊鋼/スタジオオニオン/セイキ工業/精器商会/タイド/大同トレーニング/大富運輸/タイヨー/ダイワテック/大和ハウスリート投資法人/高千穂シラス/高橋金属/竹内木材工業/タコハタ/テオホールディングス/中興電機/中部産業連盟/中部テロ/監金/IBM/デジタルリフト/東洋硬化/東洋産業/トータルクリエート/栃木県集材材協業組合/Drop/中島田鉄工所/中日本鋳工/中山精工/日幸製菓/日本アルテック/日本ウエスト/日本エンジン/日本宅配システム/日本カーボンマネジメント/日本ゼルス/日本電業工作/ネイチャーズウェイ/HYPER Inc./ハーチ/Vaio/ハウテック/浜田/ハ

環境省 HP より抜粋

④スポンサー活動

2022年8月、当社は「岐阜大学フォーミュラレーシング」のスポンサー支援を決定した。当社の事業と共通性のある学生活動に対し、「単に自動車を走らせるだけでなく、車両製作や納期管理、資金管理にいたるまで学生自身で行うとともに、ステークホルダーに対して定期的にしっかりした活動報告を行う姿に感動しました。」とし、車両製作の技術面も含めて、支援を決定している。



岐阜大学フォーミュラレーシング
 公式HPへようこそ！！
 Twitter: @gifu_formula2
 Instagram: gifufformularacing
 YouTube: GFR Gifu University Formula Racing
 岐阜大学フォーミュラレーシング HP

⑤様々な事業やプロジェクトへの参画、取組

当社が協賛するリデザインプロジェクトは愛知県及び近隣地域における地域産業の資源循環、若者のセンス・アイディアの活用、障がい者就労機会創出を目的としたパートナーシッププロジェクトである。本プロジェクトは基本的に布製品（繊維材等）であるためエンジンとは関連性は薄いものの、当社は資源循環の観点から事業に協賛している。未利用素材の活用による循環と、若者のデザイン・発想を広げる場として注目され、障がい者雇用においても大きな役割を果たす。

また、愛知県循環型社会形成推進事業費補助金の採択企業にも選定されており、サーキュラーエ

コノミー推進プランと共に自治体との連携も強化していく。

上記のような、SDGs 宣言、地域振興活動、学生支援、CO2 削減活動を通じ、当社はE S G活動を拡大している。当社は経営理念における「社会の繋がり」を強くし、本業であるエンジンオーバーホール、リビルトという社会的使命をより一層周知させ、サーキュラーエコノミーの枠組みを広げていくことを想定している。

5. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により日本エンジン株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。日本エンジン株式会社の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。日本エンジン株式会社の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については日本エンジン株式会社が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に日本エンジン株式会社の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

また、当社の事業の特性上、受注業者と納品業者が同一であるケースが多い為、本項におけるインパクト分析は、「川上・川下の事業」及び「当社の事業」としてカテゴリ化する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

・川上及び川下の事業（掲載は主要業種のみ）

インパクトカテゴリ	川上・川下の事業															
	【 0710 】		【 2513 】		【 2910 】		【 2930 】		【 3020 】		【 3099 】		【 4912 】		【 4923 】	
	鉄鉱業	蒸気発生装置製造業（セントラルヒーティング温水ボイラーを除く。）	自動車製造業	自動車部品及び付属品製造業	鉄道機関車及び車両製造業	他に分類されないその他の輸送用機械器具製造業	貨物鉄道運送業	道路貨物運送業								
Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）		★★				★★										
食料																
住居																
健康・衛生		★				★★		★★		★★		★			★★	
教育																
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
エネルギー																
移動手段					★★	★	★	★	★★		★★		★		★	
情報																
文化・伝統																
人格と人の安全保障		★★						★								
正義																
強固な制度・平和・安定																
水（質）		★★		★		★		★		★		★				
大気		★		★		★		★		★		★		★	★★	
土壌		★★				★		★		★		★		★	★★	
生物多様性と生態系サービス		★★												★	★★	
資源効率・安全性		★★		★		★★		★★		★		★		★★	★★	
気候		★		★		★★		★★		★		★		★	★★	
廃棄物		★★		★		★		★		★		★		★	★	
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★		★		★		★	
経済収束					★		★		★		★		★			

川上及び川下の事業については、エンジン周りのパーツが多いことから、自動車産業、運送業が該当する。これらの業種においては、移動手段や包括的な経済成長においてポジティブがみられる一方で、環境負荷が大きい業種でもある為、大気や廃棄物、気候といったインパクトカテゴリにネガティブインパクトが散見される。

当社がこれらの業種に能動的な働きをすることとして、本業であるエンジンリビルトの周知や、オーバーホールによる長寿命化を図ることを推進することが挙げられる。これにより環境負荷におけるネガティブ縮小が期待できる。

また、大手自動車メーカーや大手鉄道会社との取引もあるが、当社としては様々な業種や企業規模の会社に対し、自社の技術を活かして取引拡大を図る為、上記マッピングに関わらず、様々な事業において環境面のネガティブ縮小が期待できる。

・ 当社の事業（掲載は主要業種のみ）

インパクトカテゴリ	同社事業													
	【 2591 】		【 2592 】		【 2599 】		【 2651 】		【 2710 】		【 2811 】		【 2813 】	
	金属の鍛造、プレス、打ち抜き及び圧延成形業並びに粉末冶金業		金属の処理・塗装・機械加工業		他に分類されないその他の金属製品製造業		測定、試験、操縦及び制御装置製造業		電動機、発電機、変圧器、配電及び制御装置製造業		エンジン及びタービン製造業（航空機用、自動車用及びオートバイ用エンジンを除く。）		その他のポンプ、圧縮機、タップ及び弁製造業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）														★
食料														
住居														
健康・衛生														
教育														
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー									★★					
移動手段							★				★			
情報														
文化・伝統														
人格と人の安全保障														
正義														
強固な制度・平和・安定														
水（質）		★		★		★		★		★		★		★
大気		★		★		★		★		★		★		★
土壌								★		★		★		★
生物多様性と生態系サービス														
資源効率・安全性		★		★		★		★		★		★		★
気候		★		★		★		★		★		★		★
廃棄物		★		★		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★		★		★	
経済収束														

インパクトカテゴリ	同社事業													
	【 2910 】		【 2930 】		【 3020 】		【 3099 】		【 3311 】		【 3312 】		【 3315 】	
	自動車製造業		自動車部品及び付属品製造業		鉄道機関車及び車両製造業		他に分類されないその他の輸送用機械器具製造業		金属製品修理業		機械修理業		輸送用機械器具修理業(自動車を除く。)	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）		★★								★		★		★
食料														
住居														
健康・衛生		★★		★★		★★		★						
教育														
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー														
移動手段	★★	★	★	★	★★		★★							★
情報														
文化・伝統														
人格と人の安全保障				★										
正義														
強固な制度・平和・安定														
水（質）		★		★		★		★		★		★		★
大気		★		★		★		★		★		★		★
土壌		★		★		★		★		★		★		★
生物多様性と生態系サービス										★		★		★
資源効率・安全性		★★		★★		★		★		★★		★★		★★
気候		★★		★★		★		★		★		★		★
廃棄物		★		★		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★		★		★	
経済収束	★		★		★		★							

日本エンジン株式会社の主要業種として「金属の処理・塗装・機械加工業」「自動車部品及び付属品製造業」「金属製品修理業」等のインパクト分布を確認した。当社は高度なリビルト技術やオーバーホール技術により自動車業界、運送業界を下支えすることで「包括的で健全な経済」に貢献している。また、修理業としての側面では、エンジンや自動車部品の長寿命化や廃棄物の削減に貢献している。

特殊な技術を承継していき、若い世代に受け継ぐことは、人材を育成していくことでも雇用面にポジティブな影響が大きい。

これらの分析結果を踏まえ、前述の当社事業に則した KPI を設定する。

尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応する SDG s のゴールは、下記の通りである。

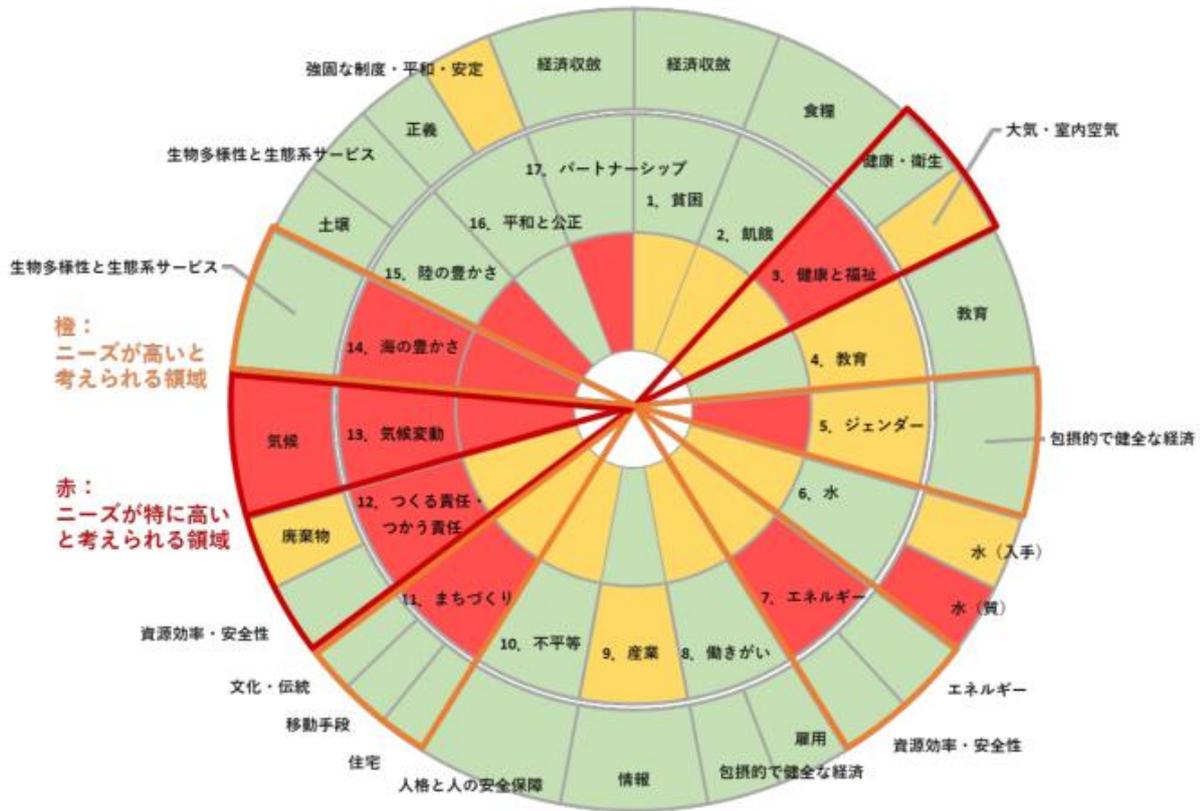
※対応する SDG s のゴール



③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した日本エンジン株式会社のインパクトと対応する SDGs のゴール「3、9、11、12、13、14、15、17」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



④海外のインパクトニーズ

日本エンジン株式会社売上の大きな割合を占めるのが自動車関係であるため、海外のインパクトニーズについても自動車の利用率や人口を基準として先進国における整合性を分析する。また、外国人就労者の受入れを勘案し、ベトナム、フィリピンについても整合性を確認した。下記に示したのは、上記国々のSDGsインデックス&ダッシュボード2021を参照したものである。緑で配色されたゴール以外は、色が薄い順に「課題がある」、「重要な課題がある」、「多大な課題がある」となっている。

特定したインパクトに対応するSDGsのゴールは、それぞれの国々においても重要度が高いことが確認出来る。

※各国のインパクトニーズ

United States

OECD member



China

East and South Asia



絆をつくる、明日へつなぐ。



India

East and South Asia



United Kingdom

OECD member



Germany

OECD member



France

OECD member



Vietnam

East and South Asia



Philippines

East and South Asia



6. 測定するKPI

①リビルト技術の拡大による経済面及び経済面でのポジティブ拡大

項目	内容
インパクトの種類	環境面でポジティブインパクトを拡大 経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」「廃棄物」「移動手段」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	   
対応方針	エンジンのリビルト技術を通じた資源循環・経済活動への貢献
KPI	<ul style="list-style-type: none"> エンジン部門の売上を100百万円以上に維持する。(取組開示) 鉄道部品の売上を100百万円以上に維持する。(実績開示) ISO9001の継続更新(実績開示) 愛知県との連携によりサーキュラーエコノミー推進プランを拡大する(取組開示)

②働きやすさ向上の改革による社会面でのポジティブ拡大

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	キャリア形成支援、働きやすさ向上の為の施策
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営の継続及び従業員の健康診断再受診率を100%に維持する。(実績開示) 人事制度、日報管理によるキャリア形成支援及び働きやすい組織体の構築(実績開示)

③地元地域貢献、スポーツ振興による社会面でのポジティブ拡大

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大 環境面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「教育」「資源効率・安全性」「廃棄物」
関連するSDGs	  
対応方針	地域社会の発展への貢献、地域教育機関等との連携
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜フォーミュラーレーシングへのスポンサー継続(取組開示) 商工会議所や地元小中学校と連携した工場見学による教育機会の提供(取組開示)

④認証維持やCO2排出量のモニタリングによる環境面でのネガティブ縮小

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「大気」「気候」
関連するSDGs	
対応方針	サーキュラーエコノミー・カーボンニュートラル実現に向けた積極的な取り組み
KPI	・SBT認証に基づくGHG削減について、社用車のEV化やCO2フリー電源の導入等を進めるとともに、排出量の測定・把握を継続する。(取組開示)

7. インパクトの管理体制

日本エンジン株式会社は高橋社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び管理部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、高橋社長と管理部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 高橋 剛
管理責任者	管理部長 田邊 敦
管理部署	管理部

8. モニタリング方法

日本エンジン株式会社に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

9. 総括

日本エンジン株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。日本エンジン株式会社が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。